

公益財団法人 日本女性学習財団

2015 年度 コラボレーション・セミナー募集要項

1. 概要と目的

公益財団法人日本女性学習財団では、地域の生涯学習振興とネットワークづくりに寄与するため、全国各地の機関、団体・グループ等から、地域課題に即した講座企画を募集します。選考を経て採択された企画は、日本女性学習財団と協働で、コラボレーション・セミナーとして実施します。

2. 応募対象・資格

①女性関連施設、生涯学習センター、大学等の機関（指定管理者も含む）

②団体・グループ

（女性団体・企業/労働組合・NPO法人を含む）

※個人での申込みは受け付けない。

①～②は以下の要件を備えていること

- 1) 規約があり、予算・決算・事業報告を的確に行っている団体であること
- 2) 特定の政党、これに類する政治団体及び宗教活動や営利活動を主たる目的とする団体でないこと
- 3) 前年度に実施していないこと

3. 応募要件

①企画テーマ

以下の2分野から講座・セミナー・ワークショップ等の企画案を募集します。

A：女性のキャリア支援

（女子学生、育児中の女性、非正規雇用女性などを対象としたもの。支援者向けを含む。）

B：地域活動・市民活動支援

（活動を支える企画力、提案力、組織力をつけるもの。）

※企画例については別紙1参照（財団ホームページに詳細を掲載する）

②実施時期 2015年6月～2016年2月

4. 募集件数 1～2件程度

5. 選考方法

書類選考。採否について2015年2月上旬に通知。

※選考基準については別紙2参照

6. 応募方法

所定の申込書に記入の上、(1)～(5)の書類を添付して本財団学習事業課宛に郵送すること。

- (1) 2015 年度コラボレーション・セミナー事業申込書(別紙 3)
- (2) 2014 年度事業計画
- (3) 2014 年度予算書
- (4) 団体の規約
- (5) 役員名簿及び会員名簿

7. 応募締切

2015 年 1 月 20 日 (火) 消印有効 ※郵送以外は受け付けない。

8. 経費・役割分担

下記の通り経費・役割を分担する(◎：主担当 ○：副担当 ー：分担なし)。

経費分担	財 団	協働先
会場利用料(含保育室・講師控室等)	ー	◎
保育経費	ー	◎
テキスト代(財団作成資料)	ー	◎※1
講師謝礼・旅費等	◎	○※2
財団職員派遣費用	◎	ー
打合に係わる協働先職員派遣旅費	ー	◎
広報に伴う費用(チラシ等制作・発送)	○※3	◎

※1 セミナーでは月刊「We learn」1冊と以下の財団発行資料の中から1冊を選定してテキストとして使用する。費用は協働先または参加者が負担する。

『学習支援ハンドブック』1,429円(地域活動・市民活動支援)

『女性のキャリア形成支援ハンドブック』800円(女性のキャリア支援)

月刊「We learn」286円(地域活動支援・女性のキャリア支援)・いずれも税別

※2 協働先が選定・依頼した講師の謝礼・交通費は協働先が負担する。

※3 財団は、月刊「We learn」、財団 HP、財団 DM 等で広報を行う

役割分担	財 団	協働先
企 画	◎	◎
参加者募集※・申込受付窓口	(問合せのみ)	◎
チラシ・ポスター制作・印刷	○	◎
当日の運営	◎	◎
参加者アンケート・ 協働に関する事業評価	◎	◎

9. その他

①申込時の注意事項

- ・参加費や保育の費用徴収等に関しては申込書に明記すること。内容については協議のうえ変更することもある。
- ・他団体の補助金・助成金、企業の協賛金等を受けて行う予定または決定がある時は、応募時にその旨明記すること。採用決定後に生じる場合は相手先・条件等について予め本財団と協議の上、決定する。
- ・応募書類は返却しない。選考にかかわる問合せには応じない。
- ・提出された情報については、本事業の選考以外には使用しない。

②採用後の履行要件

- 1) 採用となった企画の広報チラシ・ポスター、事業報告書等については、(公財)日本女性学習財団とのコラボレーション・セミナーであることを明記する。
- 2) 採用決定後、財団および協働先担当職員と講師が協議の上、地域の実情にあった企画プログラムを作成し、実施可能な日数・時間・募集人数等、詳細を決定する。※連続講座の場合は、原則としてその中の1回を協働とする。
- 3) 参加者が10人に満たないときは本財団の判断で中止する場合がある。
- 4) 講師、協働先担当職員を交えての打合せ会議は、事前に1回、主として本財団を会場として開催する。打合せの際の旅費は協働先の負担とする。
- 5) 応募者の組織、事業予算、担当部署・担当者、事業名称等、本事業に関連する事柄に変更があった場合には、本財団に速やかに連絡する。
- 6) 物品の販売やこれにかかる広報活動、寄付・募金活動等は事前に協議する。
- 7) 1)～6)までの要件を満たさず、または協働先の事由により開催を中止する場合は、本財団はそれまでに発生した経費等、一切の責を負わない。また、信頼を損ねる行為により事業の中止または実施に支障をきたした場合は、財団が被った損害については協働先の責任とする。

■申込み・問合せ先 公益財団法人日本女性学習財団 学習事業課

〒105-0011

東京都港区芝公園2-6-8 日本女子会館 5階

TEL 03-3434-7575 FAX 03-3434-8082

E-mail jawe@nifty.com HP <http://www.jawe2011.jp>

別紙 1 : コラボレーション・セミナー 企画例

企画	タイトル	内容	人数 (目安)	時間 (目安)	使用テキスト 参考テキスト
A 女性の キャリア 支援	女子学生 のためのキャリア しゃべり場	社会へ巣立つ準備を始める女子 大学生が、少し先輩格の働く女性 をキャリアモデルに迎え、等身大 の経験談を聴き、グループで話し 合いながら自分の長い人生を見 通したライフプランづくりをし、社会 とかかわる土台づくりをめざす。	20 ～ 30 人	150 ～ 180 分	使用テキスト 月刊 「We learn」 参考テキスト 『女性のキャリア 形成支援ハン ドブック』
	初任者向け： 女性のキャリア 形成支援者 育成講座	専門家によるレクチャーとワークシ ョップ体験を通して、多様な女性 のニーズに応え、参加者のエンパ ワーメントにつながるキャリアセミナ ーの企画と参加者への支援を学 ぶ。	20 ～ 30 人	180 分	使用テキスト 『女性のキャリア 形成支援ハン ドブック』 月刊 「We learn」
B 地域 活動・ 市民 活動 支援	市民力 パワーアップ講座 —協働のための “提案力”を磨こう!	行政等と協働経験の少ない市民 団体等が、活動をステップアップ させるために協働について知り、 協働を実現させる「提案する力」 を実践的に体験しながら学べるセ ミナー。	20 ～ 30 人	1日	使用テキスト 『学習支援ハン ドブック』 参考テキスト 月刊 「We learn」
	地域活動を支える “力”をつける —これまでの活動 をふり返り、地域 再生をめざす	地域活動者の実践力を高めるた め、役割や求められる視点につい て考え、具体的な方法を学ぶプロ グラム。ラウンドテーブル等の手法 を用いて、「組織の学び」を体験 する。	20 ～ 30 人	1日	使用テキスト 『学習支援ハン ドブック』 参考テキスト 月刊 「We learn」

別紙 2

【コラボレーション・セミナー選考基準】

以下の点を勘案して協働先を選考する。

1. 地域ならびに機関・団体の種類に偏りが生じないこと。

※例えば、地域が一カ所に集中したり、機関・団体がNPOのみに偏らないよう配慮する。

2. 応募の企画に男女共同参画の視点があること。
3. 実施後、地域での波及効果が期待できること。